

2016年5月4日（水）

英会話道場イングリッシュヒルズ
英語道弟子課程

「神聖性」という普遍的巨大枠から、 美術作品に内在する本質を捉える

生井利幸

[導入]

本文書教材は、英語道弟子課程における特別稽古の受講方法、及び、学習方法について、本教材の主題、『「神聖性」という普遍的巨大枠から、美術作品に内在する本質を捉える』と如き学習目的を達成するべく作成されたものである。以下、“箇条書方式”で、順次、英語道弟子課程・特別稽古において、弟子が美術作品を学習する上で遵守すべき重要事項を列挙する。

[重要事項]

- 1 英語道弟子課程・特別稽古は、「生井利幸が行う、神聖なる学問・文化・芸術の稽古」である。
- 2 「（“抽象的概念”としての）世界レベルの英知・美意識」を構築するための“プロセス”（過程・手段・手続・媒介）として、英語道弟子課程におけるすべての教授内容について「生井利幸のティーチングを“そのための通過プロセス”として学ぶ」とい

う考え方で勉強を進めていくと、やがて、英語道弟子課程・弟子としての勉強に失敗する。

- 3 弟子として勉強の発展・成果を実現させるには、「生井利幸の英知・美意識そのものを直接学ぶ」という勉強方法を採用することが“最大の効果を齎す”と宣言する。同時に、弟子においては、このことを認識・理解することは、生井利幸の弟子として、「生井利幸からの transubstantiation（全質変化）を体験具現する」上で大前提となることである。
- 4 英語道弟子課程・特別稽古を受講する場合は、事前に、必ず、身体と精神の解毒 (detoxification)、及び、浄化(purification)を図ることが必要不可欠である。なお、解毒と浄化の方法について講師に相談したい弟子は、その旨を講師に相談すること。
- 5 英語道弟子課程・特別稽古で賦与される芸術鑑賞は、そのすべてが、生井利幸から弟子への transubstantiation（全質変化）として、『生井利幸の美意識それ自体』を、弟子の血(blood)・骨(bones)・肉(flesh)に注入・移入・全質変化させることを唯一の目的として行われる。

英語道弟子課程・特別稽古は、一般世間で行われているような単なる教養講座・公開講座ではない。特別稽古は、「世界的教養人である生井利幸の『命』(life)の一部」を、惜しみなく弟子に賦与する稽古である。

- 6 学習における具体的テーマが美術作品である場合、安易な発想で、“安っぽい近道”として、インターネットの検索サイトで検索し、パソコンの画面上で当該美術作品を見ること、また、雑多な情報（毒された情報）を得ることを“一切禁止”する。

生井利幸は、特別稽古を行うとき、その都度、“私費を投じて”絵画等、「弟子に対する教育に必要な教材」を購入している。弟子は、講師が特別稽古で使用する絵画を購入・準備するその行為は、「弟子である自分たちがインターネットで当該絵画を見るため」に行っているわけではないことを肝に銘じること。

生井利幸の弟子は、「生井利幸の神聖なる特別稽古」を汚すことのないように、一事が万事において、最高、且つ、細心の注意を払うこと。

- 7 生井利幸が教授する美術作品についての 1)「特別稽古」、2)『『弟子の特権』(privilege given to the disciples by God)の使用から生じる稽古」、3)「必要に応じて賦与されるその他の稽古」は、『弟子における、生井利幸の美意識の体験具現・全質変化』を唯一の目的として行われる。
- 8 生井利幸が賦与する美術作品の「特別稽古」、及び、『『弟子の特権』(privilege given to the disciples by God)の使用から生じる特別稽古』は、通常の教育機関で行われているような「美術作品についての雑多、且つ、表面的な知識」を与えるために行うものではない。
- 9 特別稽古の主題として扱われている美術作品について、特別稽古、あるいは、英語稽古以外の時間にも鑑賞したい場合は、公共図書館等において、画集、その他、実際の紙で編集・印刷されている書籍等を閲覧して鑑賞することを強く奨励する。

あるいは、弟子は、特別稽古の時間に加え、さらに多くの時間を使って当該美術作品を鑑賞したい場合、講師に対して、その旨を相談できる。

- 10 生井利幸の弟子においては、毎日、1)「生井利幸公式サイト」、2)「英会話道場イングリッシュヒルズ・ウェブサイト」、3)「英語道弟子課程・弟子専用ページ(弟子用巨大キャンパス)」を介して、「世界レヴェルの英知・美意識」構築の日々を送るための「神から賦与された特権」(a privilege given by God)が与えられている。
- 11 英語道弟子課程の勉強を行う上で、インターネット上の一般のウェブサイトを使っての資料・情報を得ることを禁止する。必要性がある場合は、「公共図書館等を訪れ、その場所で適切な資料・情報を得る」という方法で学習を行うこと。

当・英会話道場イングリッシュヒルズにおいて、過去において、インターネット上のウィキペディア等を閲覧し、ページ上の情報を自分のノートに丸写しし、学習者自身、「そのことについてしっかりと勉強した」という“勘違い”・“思い違い”をする者がいた(ウィキペディアは、一般の“素人のインターネット・ユーザー”が書き込みをして作成されているものであり、何ら、学問的裏付け・信用性のない“素人のための書き込みウェブサイト”である)。

英語道弟子課程で学ぶ弟子においては、そうした学習方法は、「“偽者”が行う学習方法である」ということを認識・理解することが最低限必要である。

- 12 弟子が、特別稽古に関わる学習において、1)「生井利幸公式サイト」、及び、2)「英会話道場イングリッシュヒルズ・ウェブサイト」以外の“一般のウェブサイト”を閲覧した場合、生井利幸は、「弟子におけるそうした事実・様相」について即座に見抜く洞察力・識見を備えている。しかし、このような場合、生井利幸は、一定の期間、弟子に対して、このことについて言及することはない。

基本的に、(一定の期間は)上記事項について講師から弟子に対して言及することはないが、この場合、弟子は、“一秒でも早く”、そうした「不健全、且つ、妥当性不在の行為」から離れるべきである。一定の期間を経ても弟子がそうした不適切な行為を止めない場合は、講師は、適切な方法で、弟子に対して「注意」「助言」を与えることになる。

- 13 本稿に記載された事項を理解することなく、「雑多な知識」、及び、「毒された情報」を得ようとする弟子は、少しずつ、本来における生井利幸の弟子としての勉強から大きく逸脱し、やがては、英語道弟子課程弟子としての勉強に失敗する。
- 14 英語道弟子課程・特別稽古において賦与される美術鑑賞は、単なる“ローカルな芸術鑑賞”ではない。特別稽古において賦与される美術鑑賞は、「普遍的な立ち位置から、本質・真理のみを教授する『生井利幸の命』(Toshiyuki Namai's life)」そのものである。
- 15 英語道弟子課程における特別稽古を行うにあたり、講師の生井利幸は、事前に、「相当なる時間」を投入して、そのための準備に取り掛かっている。弟子に対する美術作品の教授活動では、教授する絵画の購入のために相当なる費用をかけ、絵画の搬入、銀座書斎、森のギャラリーの再構築のために「膨大な時間」を費やしている。

弟子においては、上記事項、即ち、特別稽古を行う上で、講師が、実に「限界の限界」まで、稽古の準備のために「膨大なエネルギー」を投入しているその事実を認識・理解することが求められる。

講師におけるこのような準備の様相を十分に認識・理解する弟子であるならば、相当なる時間・手間隙をかけて準備した絵画を、「単なる興味本位」、「雑多な知識の詰め込み欲」のために安易な考えでインターネットを使う行為は、「生井利幸が賦与する神聖なる特別稽古に対する冒涇」であるということがわかるであろう。

- 16 特別稽古を受講する弟子において、特別稽古の「受講前」の時期において、「本稿に記載した指導・助言内容に反する行為」を行ってしまった場合は、特別稽古の受講の前に、必ず、その旨を講師に申し出ること。

ローカルな欲を出し、講師に「嘘」(lie)をついてまで特別稽古を受講しても、そうした学習経験は、何ら、本質的学習となり得ることはない。また、講師に嘘をついて特別稽古を受講することは、「神聖なる生井利幸の教授（稽古）に対する冒涇」として解される。

“Truth will out.”（真実は、やがて露見する。嘘は、遅かれ早かれ相手にわかってしまう。）・・・弟子においては、「正真正銘の本物」になることを目指し、迎える一日一日において、この言葉を、「自分の心」だけでなく、「自分の魂」に向けても発し続けることが期待されている。